

ペーターニ ルーカス・グラーフ

フルート・リサイタル

Profile



フルート ペーターニルーカス・グラーフ

Peter-Lukas Graf, Flute

1929年1月5日、スイス・チューリッヒ生まれ。チューリッヒ音楽院でアンドレ・ジョネに、パリ音楽院でマルセル・モイーズとロジェ・コルテに師事。ヴァンタートゥアー市立管弦楽団、ルツェルン音楽祭管弦楽団で首席フルート奏者を歴任。1953年ミュンヘン国際音楽コンクールで優勝。指揮者としては1960年ルツェルン歌劇場でデビュー後、1966年まで同劇場首席指揮者を務めた。1974年初来日。以後ソリスト、講師として多数来日している。2013年2月にも、佐渡裕指揮・東京シティフィルハーモニック管弦楽団と共に日本各地で共演した。

また、『チェックアップ』や『シンギング・フルート』など各国で使用されている著名なフルートの教則本の著者としても知られ、バーゼル音楽院教授としても長きに渡り多くの後進を育成してきた。主にCLAVESレーベルから数多くのCDが出されている他、日本でのライブCD『コンチェルティノー』(2013年6月)及び『リサイタル』(2018年12月)がリリースされている。

90歳になる現在も現役フルート奏者として演奏やマスタークラスを定期的に行う他、指揮者としても世界的に活躍を続けている。昭和音楽大学では2000年以来定期的にマスタークラスを行い、これまでに数多くの学生が指導を受けている。



ピアノ 田原さえ

Saée Tahara, Piano

仙台市出身。武蔵野音楽大学・同大学院を経て、'90年ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学修了、オーストリア政府芸術修士を取得。帰国後は、ソロや室内楽など幅広く演奏活動を行い、東京と仙台とでリサイタルを開催(15回)。また、ザルツブルグでのI.ハッセとのデュオ・リサイタルや、ベルリン弦楽四重奏団、P.L.グラーフとの共演など国際的にも活躍し、2008年6月にはプラハ放送交響楽団との協演も行った。公開レッスンなどでの通訳も数多くこなしている。

平成15年度仙台市市民文化事業団主催による「Classic Live For You」をプロデュース。第2～7回仙台国際音楽コンクールではチャレンジャーズライブのコーディネーターをつとめる。また、仙台バッハゼミナールやミュージックプロデュースMHKSを立ちあげるなど、仙台を中心に様々な音楽活動を展開している。平成29年度宮城県芸術選奨受賞。2010年12月に初のソロCD「それは、懐かしい時の始まり」を、またP.L.グラーフ氏とのライブCD「コンチェルティノー」(2013年6月)及び「リサイタル」(2018年12月)をリリース。

現在、昭和音楽大学及び聖和学園短期大学講師。仙台バッハゼミナール代表。MHKS音楽プロデューサー。宮城県芸術協会会員。

Access

昭和音楽大学 ユリホール (南校舎5階)

神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

[交通のご案内] 小田急線「新百合ヶ丘」駅南口徒歩4分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

[お問合せ] 昭和音楽大学演奏センター

TEL 044-953-9865(平日10～18時 ※平日12～13時と土・日・祝を除く)

